

2026 年 9 月 14 日

関係各位



国内初「セメントを使用しないコンクリートを採用した PC 斜張橋」を建設中 ～環境配慮型コンクリートの本格実装～

三井住友建設株式会社(東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 柴田 敏雄)は、公益財団法人東京都道路整備保全公社が東京都と締結した事業協定に基づく御岳小橋架替え事業において、「設計段階から施工者が関与する方式(ECI方式※¹)」の技術協力業務に参画し、2025年11月に工事へ着手しました※²。東京都が進める本事業は、地域の安全性と利便性の向上を図るため、台風により流出した人道橋の再建を目的とするものです。

東京都では「ゼロエミッション東京」の実現を目指し、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減する「カーボンハーフ」を掲げ、省エネルギーの推進や再生可能エネルギー導入の拡大に取り組んでいます。これを踏まえ、インフラ整備事業においても脱炭素化を積極的に推進しています。御岳小橋架替え事業では、ポルトランドセメントを使用しないコンクリート(以下、ゼロセメントコンクリート)をはじめとする環境配慮型コンクリートを採用し、CO₂排出量の抑制により環境負荷の低減を図ることで、美しい御岳溪谷の保全と地域の持続的な発展を目指しています。



環境配慮型コンクリートを適用した「御岳小橋」のイメージパース

御岳小橋架替え事業では、地球環境に配慮し、コンクリートの製造時に多くのCO₂を排出するポルトランドセメントの使用量を大幅に削減しています。現場で使用する部分には、ポルトランドセメントの75.5%を高炉スラグ微粉末で置換した高流動・低炭素型コンクリートを採用しています。さらに、主塔や橋桁のプレキャスト部材には、CO₂排出量を90%削減できるゼロセメントコンクリートを適用します。

御岳小橋で採用している環境配慮型コンクリート

採用したコンクリート※3	ポルトランドセメント の置換率	CO ₂ 排出量 削減率	適用部位
ゼロセメントコンクリート	100%	90%	工場製プレキャスト部材 (主塔・橋桁)
高流動・低炭素型コンクリート	75.5%	70%	場所打ち部分 (橋脚・橋台・主塔斜材定着部)

御岳小橋架替え事業では、河川水位が高くなる出水期(6月～10月)の河川内施工を回避し、施工を進めています。2026年9月現在、高流動・低炭素型コンクリートを採用したP1橋脚およびA2橋台を完成させ、吉野街道側の桁橋を施工中です。

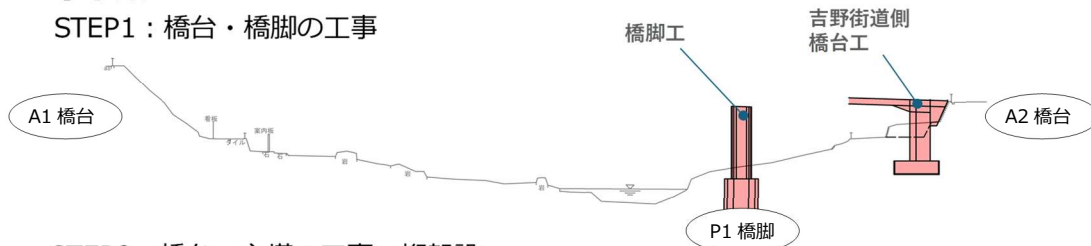


高流動・低炭素型コンクリートを採用した御岳小橋の P1 橋脚

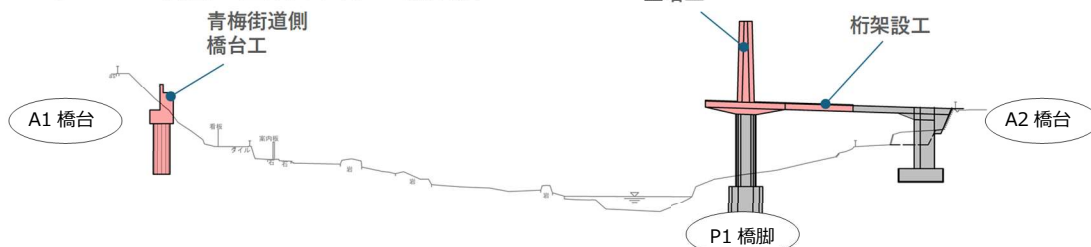
[illegible]

■ 工事手順

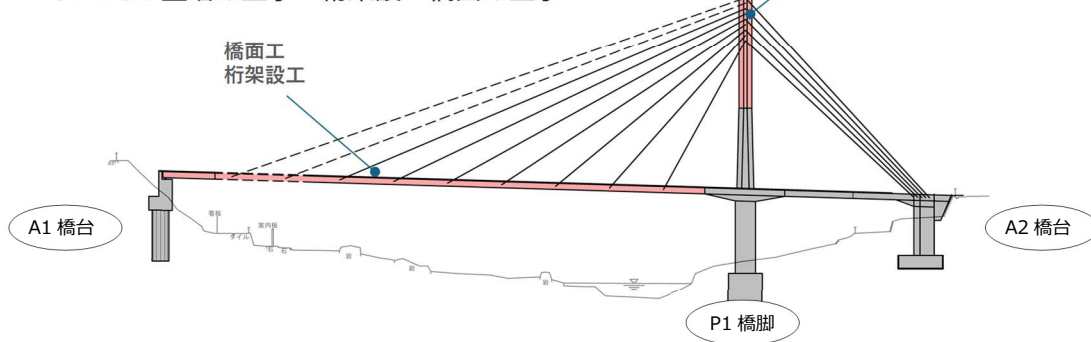
STEP1：橋台・橋脚の工事



STEP2：橋台・主塔の工事・桁架設



STEP3：主塔の工事・桁架設・橋面の工事



工事の施工ステップ

<今後のスケジュール>

2026年11月の非出水期からは、P1橋脚上の橋桁構築に着手します。また、ゼロセメントコンクリートを適用した工場製プレキャスト部材（橋桁と主塔の一部）の製作を進め、現地での架設を行い、2028年度の供用開始を目指します。

※1 Early Contractor Involvement の略称

※2 公益財団法人東京都道路整備保全公社

URL: https://www.tmpc.or.jp/01_news/press.html?itemid=874&dispmid=2794

※3 材料に由来するCO₂排出量を最大90%削減する当社が開発した環境配慮型コンクリート

「サステインクリート®」 URL: <https://www.smcon.co.jp/service/sustain-crete/>

<問い合わせ先>

三井住友建設株式会社

経営企画本部 広報室

E-Mail: information@smcon.co.jp